

2. 火山の概況 (平成15年9月11日～平成15年9月17日)

浅間山では地震がやや多い状態が続いた。三宅島では噴煙活動が継続した。阿蘇山では中岳第一火口の浅部の熱的な活動が活発であった。桜島では噴火が発生した。諏訪之瀬島では微動が継続した。

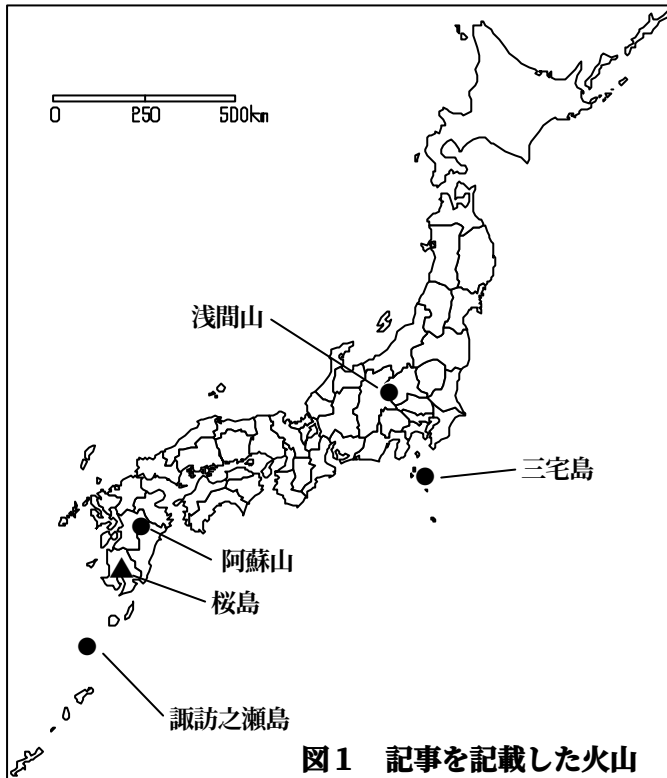


図1 記事を記載した火山

表1 最近1か月に記事を記載した火山

号	対象期間	浅間山	三宅島	阿蘇山	桜島	薩摩硫黄島	諏訪之瀬島
38	9/12- 9/18	●	●	●	▲		●
37	9/ 4- 9/10	●	●	●	▲		▲
36	8/28- 9/ 3	●	●	●	▲	●	▲
35	8/21- 8/27	●	●	●		●	●
34	8/14- 8/20	●	●	●		▲	▲

注1 記号の意味

▲：噴火した火山

●：観測データ等に変化があった火山

◆：前期間までに掲載した火山の、その後の状況等

注2 本文の火山名の後ろの[噴煙・噴気・地震・微動・空振・地殻変動・熱・火山ガス等]は、変化があった観測データ項目を示す。

● 浅間山 [地震・微動・熱]

6月末頃からやや多く観測されるようになった振幅の小さい地震は、今期間もやや多い状態が継続しており、1日当たり43～68回観測された。また、振幅の小さい微動は12日の7回を最高に合計16回とやや多く観測された(前期間6回)。

噴煙の状況は山頂部が雲に覆われて観測できない日が多かったが、14日には白色噴煙が火口縁上200mまで上がっているのが、山麓の監視カメラで観測された。

群馬県林務部設置の赤外カメラでは、火口底で引き続き高温部が観測された。

● 三宅島 [火山ガス・噴煙]

16日に気象庁が行った火山ガス観測¹⁾では、二酸化硫黄の放出量は日量5,500～7,500トンと、長期的には低下傾向がみられるものの依然多い状態であった(図2)。また、同時に気象庁、産業技術総合研究所及び大学合同観測班が行った上空からの観測¹⁾では、主火口からの白色噴煙の放出が継続しているのを確認した。山体の地形や火口の状況等に大きな変化はなかった。赤外熱映像装置による観測では、火口内の最高温度は190℃であった(前回(6月3日)250℃)。

監視カメラによる観測では、白色噴煙は連続的に噴出しており、最高で火口縁上900mまで上がった(15日)。

振幅の小さいやや低周波の地震は、1日当たり7～39回と落ち着いた状態で推移した。

GPSによる地殻変動観測では、三宅島の収縮を示していた地殻変動は収まっている。

1) 警視庁の協力による

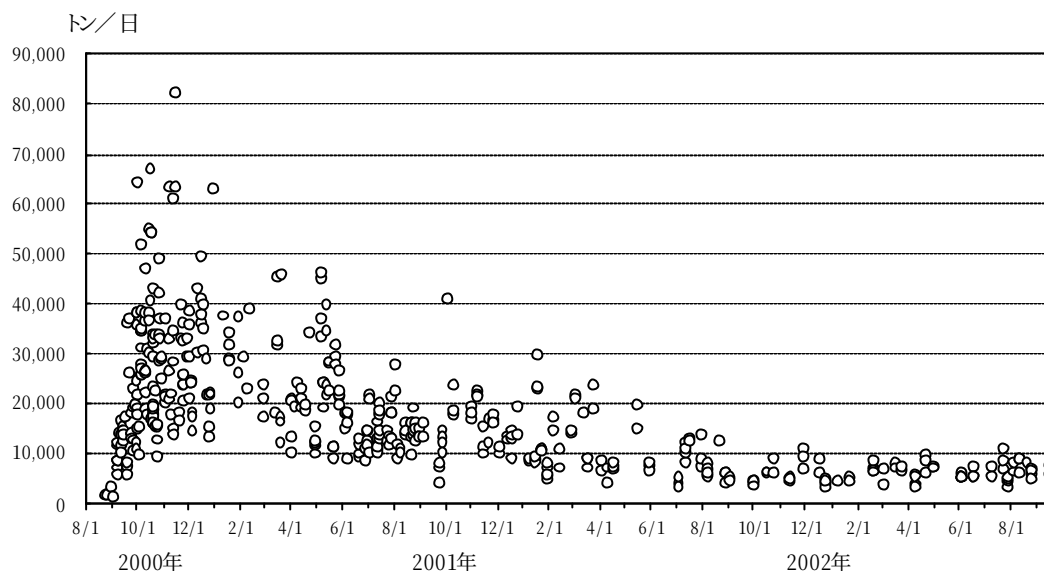


図2 三宅島 二酸化硫黄放出量の推移（2000年8月26日～2003年9月17日）

● 阿蘇山 [熱・地震・微動]

中岳第一火口内の状況は、16日に実施した現地観測では、湯だまりは緑色で茶色の浮遊物があり、中央部で噴湯現象は継続している。湯量は前期間と同じ8割であったが、若干の減少傾向がみられた。湯だまり表面温度は79℃と高い状態が続いている（前期間の最高は77℃）。

噴煙の状況は、少量の白色噴煙が連続的に噴出しており、最高は火口縁上600mであった（前期間も600m）。

孤立型微動は、12日には日回数が627回に達するなど、多い状態が継続し、今期間の合計は3,522回（前期間は3,277回）であった。B型地震は440回と前期間（262回）に比べ増加した。

A型地震の回数、地殻変動等その他の観測データには特に変化はなかった。

▲ 桜島 [爆発・空振・噴石・噴煙・降灰]

11日に爆発が1回発生した（前期間も爆発1回）。これに伴い、鹿児島地方気象台（南岳の西南西約11km）では体感空振（中）¹⁾が観測され、少量の噴石が7合目まで飛散するのを確認した。噴石の確認は1月5日の爆発以来である。

今期間の噴煙の最高は、火口縁上300m（乳白色）であった。

鹿児島地方気象台（南岳の西南西約11km）では、11日に降灰（降灰量1g/m²）を観測した（前期間なし）。

1) 体感空振（中）：誰にでも感じる程度。

● 諏訪之瀬島 [微動]

11～13日及び15日に連続的な微動が発生した。また、継続時間の短い微動は1日当たり数回から十数回発生し、今期間の合計は18回と前期間（34回）に比べ減少していた。今期間爆発は観測されなかった。

地震回数は減少し、合計は22回であった（前期間は96回）。

監視カメラによる観測では、視程不良により今期間噴煙は確認できなかった。

表2 火山情報発表状況

火山名	情報の種類及び号数	発表日時	概要
三宅島	火山観測情報第504号	11日 09:30	活動経過ほか（噴煙・地震・微動・空振・火山ガス・地殻変動の状況、上空からの観測結果、及び上空の風・火山ガスの移動予想）。
	↓（1日2回発表） 火山観測情報第517号	↓ 17日 16:30	
阿蘇山	火山観測情報第17号	12日 14:25	孤立型微動が引き続き多い状態。